

令和 4 年

# 第 7 回教育委員会会議録

(開会 令和 4 年 6 月 20 日)

(閉会 令和 4 年 6 月 20 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和4年6月20日午前9時00分開会

会場：市役所4階第1会議室

### 出席委員

堀部好彦君（教育長）

小栗照代君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

丹羽千明君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

### 説明のために出席した者

渡辺勝彦君（事務局長）

佐野政紀君（学校教育課長）

上北泰久君（学校教育課主任指導主事）

真野純次君（学校教育課指導主事）

木村千恵君（学校教育課学校支援係）

飯田晋司君（教育総務課長）

佐藤一洋君（学校給食センター所長）

三宅愛彦君（教育研究所主任指導主事）

福田真弓君（学校教育課学校支援係長）

### 出席委員会事務局職員

木村彰伯君（教育総務課総務係長）

小池拓哉君（教育総務課総務係）

### 日程及び審議結果

1 開 会

2 前々回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①報告第9号 教育に関する予算の意見について（令和4年度可見市一般会計補正  
予算（第3号））（原案承認）

②議案第16号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉 会

### 開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） 皆さん、おはようございます。  
第7回の教育委員会会議を開催させていただきます。  
定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということですのでよろしくお願いいたします。

### 前々回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） 前々回会議録の承認について、教育総務課長お願いします。
- 教育総務課長（飯田晋司君） 前々回の会議録に変更はございません。
- 教育長（堀部好彦君） 変更はなしということですのでよろしくお願いいたします。

### 教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） では、私からの報告でございます。大きく4点お願いをします。

1点目でございます。

先月は、本当に僅か1週間、10日の中で大変大きな事案が2つ続きました。この件につきましては、本当に教育委員の皆様には御心配をおかけしております。この件につきましては、概要報告がそれぞれの委員さんのところに行っているかと思うんですけれども、この場で私からも簡単に触れたいと思います。

まず、蘇南中学校1年生男子生徒の自宅の火災事故における、この子の訃報につきましてです。本当に痛ましいことございました。御両親、御家族も大変憔悴し切った中で、一般葬という決断をされて、より多くの方々、同級生に参列をしてもらって送り出してほしいというお気持ちだったのかなあと思っています。多くの人々に、自分の息子が生きたあかしを刻んでほしいというような思いが伝わる葬儀であったと思っております。

この件につきましては、小学校からの同級生、お付き合いがあった子たちもたくさんおりますので、心のケアということでスクールカウンセラーを県からも派遣をしていただいて、継続的に心配な子たちを見ていこうという体制となっております。1週間とか10日間とかいうようなレベルではなくて、いつこのことが原因で心身の不調を来す生徒が出てくるか分からないということで、大変迅速な体制を県にも協力をいただいてやっております。現在のところ、大きな心配のある生徒はいないと聞いています。もう一つ、市内小学校教諭の児童ポルノ法抵触による逮捕という件につきましても、本当に大きなショックを受けておるわけですが、警察からの情報があつた後、すぐに対応を考え、即日記者会見、そして次の日には保護者への説明会ということで、当該の学校に対する対応をさせていただきました。その説明会、私も参加をさせていただいたんですけれども、その会には当該校のPTA会長が参加をしてくださり、お話をさせていただきました。私は、大変急なことで心配をかけながらもかかわらず保護者の説明会にも参加をしていただきました。会の後、個人的にお礼を申し上げました。そうしましたら、開口一番、会長さん何と言われたかということ、一言、頑張りますとおっしゃってください

た。本当に御心配をかけている信用失墜行為のある学校のPTA会長として、そんな言葉を開口一番言っただけなのというのは、本当にそういった私たちへの期待に対して心から応えていかないといけないと思っております。

それから、当該の学級につきましては、現教職員の中で仕事をシェアして、当該の子供たちが困ることのないように手厚い体制を整え、これも当該の保護者の方々に御理解をいただいております。この事案につきましても、子供への心のケアというのがとても大切になってきます。これも、先ほどの件と並行してスクールカウンセラーを配置し、県からもいろいろ支援を受けながら対応しておるところです。大きな心配な事案が心身の不調を来しているという話も、今のところ聞いておりません。

再発防止について、即校長会、教頭会を開きまして、私、そして学校教育課長等から指導させていただいております。またこの2つの件について、何か動き等が今後もしございましたら連絡はさせていただきたいと思っております。取りあえず、本日はここまでということでもよろしくお願いをします。これが1点目です。

2点目は、教育長訪問が始まっております。半分程度回らせていただきました。明確な校長の方針の下、それぞれの教職員が自分の持ち味を生かして一生懸命働いてくださっているなあと。そのおかげで、子供たちの主体的に学ぶ姿、良好な人間関係等を感じて大変うれしく思っております。教育委員の皆さんも訪問が始まっておると聞いておりますので、またその辺り報告をいただけるとありがたいです。これが2点目です。

3点目、可児市議会6月定例会でございます。一般質問、たくさんいただきました。ありがたいなあと思いつながりながら対応させていただきました。この詳細は局長からまた報告があるかと思うんですけれども、幾つかあった質問の中で、やはり18歳成年改正民法への取組だとか、ヤングケアラーへの支援策だとか、それからSDGsだとか、今どきの話題を取り上げて質問をいただけたかなあと思っております。こういった今日的課題についての可児市における学校教育の対応はという趣旨でございましたが、いずれも既に私たちが意図的に進めている教育活動の中に位置づいておりますという趣旨で回答させていただき、御理解いただいております。これが3点目です。

4点目、最後ですが、少年の主張可児市大会、昨日a1aで開催され、伊藤委員さんも審査員で御参加をされておりました。本当にお疲れさまでした。市内の私立も含めて6校の生徒の代表12名がエントリーされていて、そのうちの1人が都合で欠席ということで残念でしたけれども、11名の発表を聞かせていただきました。どの発表も、毎年思うんですけれども、他との関わりで自己を深く見詰めた主張がなされていて、心洗われる気持ちとなりました。これにつきましても、伊藤委員さん、また後で触れていただくとありがたいなあと思っております。

以上4点でございます。

## 教育委員報告

○ 教育長（堀部好彦君） それでは、教育委員報告に入りたいと思っております。

○ 教育委員（丹羽千明君） おはようございます。

前回以降の報告をさせていただきます。

教育委員による学校訪問が始まりまして、今のところ2日間で5校回らせていただき



で、それで後ればせながら「君」とか「さん」とかをつけていますよというお話をしてくださいました。

小学校を見てみますと、みんな男の子も女の子も「さん」だったんですね。我が子を振り返りますと、小学校の頃なので、もう10年近く前の話なんですけれども、あるときから「さん」になったんです。うちの子は男の子なんですけれども、「さん」になって、親としてはすごく違和感があったんですが、その辺りのところは、やはりいろんなことがあるので、「さん」で統一していらっしゃるんだらうなあということで、違和感を持ちながらも、それでずうっと10年弱考えてきました。最近またネット上でもいろいろとそのことが取り沙汰されるようになりまして、「さん」をつける学校が多くなってきてんですけれども、それは実際に本当に子供にとっていいことなのかどうかということが議論されるような時代になってきました。

それで、今ちょうど今日持ってきたんですけれども、可児市とも縁の深い尾木直樹先生のブログがありましたので、ちょっとここを読ませていただきます。「あだ名がいじめの要因になる場合があることは大問題ですが、「さん」づけならいいとは全く思いません。むしろ強制は多様性の否定。意思のない子を育成する危険が大きくないでしょうか。一番いいのは、本人が呼んでほしい呼称を自己紹介で言うことではないでしょうか。一般的には「さん」づけはトラブルを防ぐから、ある意味便利だと思いますが、皆さんはどうお考えですか」というのが最近の投稿に載りまして、私自身も尾木先生を推すということではありませんが、本来、できれば自分が呼んでほしい呼び方で呼んであげるのが一番いいんだらうなあなんていうところを思いました。その辺りも「さん」で統一するということは今後どうなのかなというところを、少し問題意識を持っております。

続いてですけれども、ランドセルについてなんですけれども、最近子供が開発した「さんぼセル」というのがありまして、それについて「さんぼセル」どうこうではなくて、ランドセルが重いということはありませんかというお話をお伺いしました。すると、置き勉をしたりして、今のところ重いからというようなことで子供や保護者から意見はないですということで、各学校対応していただいていることは本当にありがたいなあと思っております。

一方で、校長先生が、もしこの「さんぼセル」を持っていきたいと言われたらどう対応しようかなということは考えているということです。職員の方に「知っている人」と言ったら、3人の先生が「さんぼセル」の話題は知っているということで、まだ3人だったというお話があったんですけれども、ただ、これを持っていきたいと言われたときの対応はもちろん大切かもしれませんが、言われないように日々対応してくださっている先生方はありがたいと思います。今後もそういった視点でもししっかりと子供たちのために考えてやっていただけると、より一層ありがたいなと思います。

それから、先ほどもお話がありましたマスクの話で、後からまたお話があるということなんですけれども、文部科学省が、熱中症もあるので、体育と運動部の活動、それから登下校についてはマスクを外すように指導というような記事を拝見しました。各学校でも、先生方がマスク外してくださいよと言っても、なかなか外してくれない。それはなかなか困っているというようなお話もある一方、ある学校では、校長先生が熱中症と感染予防をてんびんにかけてときに、熱中症にかかるほうが大変だと。だから、もうこ

こは決断だからといって、自分が腹をくくったというふうにおっしゃって、それで赤白帽子とマスクを交換して、帽子をかぶって外に出るとか、体育をするというようなことを取り組み始めたということをおっしゃってくださいました。

もちろんメンタル的なものもあるので、強制ではないんですが、そういった方法を取って、マスクを外せる子が多くなってきたというお話もありましたので、長に立つ校長先生がそういった御決断をしていただけるということは、本当は大変なことなんですけれども、ありがたいことだなあと思うのと同時に、やはり市としては、強制的に子供たちに外させるのかということを確認にしないと、各校長先生方もやはりお困りなのかなあという印象を持ちました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

小栗委員さんの最初のお話、独自に視点を持って訪問をしていただいているというのは大変ありがたいなあと思います。また、訪問を終えられて、教育委員会として何か取り組むべきことが見えてれば、またそれを今後、この教育委員会会議で話題に上げながらということをおっしゃっています。それぞれの御経歴、御経験、持ち味を生かした学校訪問をしていただいているなあと思って、大変ありがたくお伺いしました。ありがとうございます。

○ **教育委員（長井知子君）** おはようございます。

学校訪問をさせていただいて、各小学校の校長先生が、きちんと「笑顔の“もと”」をしっかりと考えてやられていることが分かりまして、ああ、しっかりと学校運営を考えているんだなあということが伝わってきました。

そのほかには、先ほど小栗委員が言われたように、マスクの問題で、ある学校の校長先生が命には代えられないということで、覚悟を持って決断しましたとおっしゃっているのを聞いて、すばらしいなあと思いました。

あと、すごく印象に残ったのが、土田小学校へ伺ったときなんですけれども、外国籍の子が全児童の4分の1いるということで、諸問題とか、トラブルとか、何かやっぱりあるんですかとお聞きしたら、文化の違いだとか、子供同士のコミュニケーションの取り方でやっぱりあると。ああ、そのとおりだなあと思ったんですけれども、そんな中で、専任の先生がすごく一生懸命に教えられているのを見て、ああ、土田小学校の外国籍の子供たちは幸せだなあと思ったのと、こうして学校訪問をさせていただいたことで、そういった現状が見えてきたので、しっかりとこれからも学校訪問させていただきますけれども、行かなければ見えなかった見えない部分も、しっかりと見ていきたいなと思いました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 長井委員さんも本当に確かな目で学校を見ていただいているなあということが非常によく分かりますけれども、今後も個人的にというか、委員そろっての学校訪問だけでなく、御担当の学校とかということについては、気軽に行き来ができるようになるといいかなあということを思うし、長井委員さんならそういう環境はつくってくださっていると思います。今後ともよろしくお祈りします。

それから、「笑顔の“もと”」について話題に上げてくださる校長先生方がいらっしゃるというのは、本当にありがたいなあと思います。私は、教育長訪問で校長との懇談の時間をもらっているんですけれども、そこで「笑顔の“もと”」の話をお聞きしてい

るんですが、その意図なんですけれど、私はもちろん「笑顔の“もと”」を大切にしたい学校運営をやっていたきたいというのがあって話題にさせてもらっているんですけども、もう一つは、「笑顔の“もと”」はこれですと校長が言う背景には、必ずその校長の教育理念があると思います。校長の教育理念に触れたいなあ、浸りたいなあというように思っていて、どうして校長さん、それを「笑顔の“もと”」と捉えてみえるのということで、どうしてなんて聞くと何か問い詰めるような感じなんですけど、それで嫌がって、何を言っておるのと言う方はいらっしゃらないので、気軽に聞いています。やっぱりそうすると、詳しくは控えますけど、本当にそれぞれの校長先生方の生きざまというのか、これまで教諭として、先生としてどんな教員人生を歩んでいらっしゃったのかということも含めてなんですけど、ああ、そういうものが出るんだなあと思って、私も楽しい訪問になっています。ありがとうございます。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。よろしくお願いたします。

皆さんと同じく学校訪問を3つの小学校、1つの中学校に伺わせていただきました。皆さんとかぶるところは省略しますが、ある小学校で、やはりコロナで学級閉鎖が続いたことで、ICTをあまり推進、その前は使ってはいたんですけど、苦手だったりとか、あまり推進されていなかったそうです。学級閉鎖があったことによって、言い方が悪いんですけど、やらざるを得ないということで、ちょっと年配の先生方も若い人たちに教えてもらって、もう今は全然問題なく使っているというお話がありました。また、学級閉鎖で休んでいる子供たちが、家から勉強するためにオンライン学習に入るんですけども、それを見るか見ないかは子供たちに選択させているという話がありました。選択を自由に行っているのは、結局いないことと、オンラインに入ることで、コロナにかかっているんじゃないかという、そういうちょっと差別的な問題があったらしくて、そういう選択をしていると聞きました。初めてそれは知ったことで、そういうこともあるんだなあと感じました。

ある小学校で同じ質問をしてみたんですけど、そういう話を聞いたので。ある小学校はそういうのは全然ないと。多分小学校によっても違うんだなあというのは感じています。今後もコロナ感染症については長い目で見なければいけない問題ですし、使っていて、そのほかにもいろいろと問題が出てくると思いますので、現場で起きることを、機会があれば、見に行っても分かることもありますけど、なかなか毎回見に行くこともできないので、教えていただく機会があれば、ぜひ教えていただきたいなあと思っています。これに関しては以上です。

おととい、少年の主張可児市大会に出席させていただきました。去年は、保護者と本人、あと若干学校の先生が来ていたんですけども、今年は各学校のPTAの役員が、割り振りがあるんですけど、その方たちも若干入っていらして、少しお客さんもいて、増えつつあるのかなあというのを感じました。

生徒の発表としては、本当にみんな落ち着いた様子で、いつ聞いてもそうなんですけれども、すばらしい発表だなあというのを感じました。ウクライナの戦争に最終的に結びついたりとか、ジェンダー問題だったりとか、あとはフードロス、結構社会的に知っているとか、話し合われていることに結びついたりとか、ちょっとしたきっかけでそこに行き着いているという話が多くて、その場にいた子供たちだけではなくて、市内の子



供たち全員じゃないかもしれないですけど、やっぱりそういう目でいろいろなことを考えている中学生がいるんだなあというのを知ることができてよかったです。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** 少年の主張大会、私、冒頭で昨日と多分言ってしまいましたね。おとといでしたね、すみません。失礼しました。

先ほどのICTの件なんですけれども、昨年度はICT元年ということで、とにかくみんな使いましょうよということの働きかけだったんですけれども、それぞれの学校である程度の実践が進んでいる中、今年度以降の課題というのは、それぞれの学校でそれぞれの課題があるだろうと。伊藤委員のおっしゃるとおり。そういうのもきちっと私たちが捉えて、援助していく必要があるかなあと思って、これも教育委員会として意図的に今進めておるところです。また、いろいろ課題がありましたらよろしくお願いをします。ありがとうございました。

### 議事

- **教育長（堀部好彦君）** 次に、議事に入りたいと思います。
- **事務局長（渡辺勝彦君）** それでは、議案書を御覧ください。  
表紙の裏ページの目次のとおり、本日は報告が1件、議案が1件になります。  
報告第9号 教育に関する予算の意見について（令和4年度可児市一般会計補正予算（第3号））、議案第16号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上よろしくお願います。
- **教育長（堀部好彦君）** 議案第16号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、その他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、個人情報やプライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

それでは、報告第9号 教育に関する予算の意見について（令和4年度可児市一般会計補正予算（第3号））を議題といたします。

- **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** それでは、1ページを御覧ください。  
報告第9号 教育に関する予算の意見について（令和4年度可児市一般会計補正予算（第3号））。

教育に関する予算の意見について、次のとおり専決処分したので、これを報告し、承認を求める。令和4年6月20日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記、専決処分書。

可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分する。令和4年6月7日専決、可児市教育長 堀部好彦。

記、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、令和4年度可児市一般会計補正予算（第3号）について市長から意見を求められたので、異議がないものとする。

2ページを御覧ください。

款10教育費、項6保健体育費、目3学校給食センター費、給食センター運営経費に給食材料費として1,300万円の補正をするものです。これは、物価高騰による保護者の給

食費の負担増加を抑えるとともに、安全・安心でおいしくて栄養バランスの取れた給食を引き続き提供するためのものです。

昨今報道されていますとおり、物価の上昇は食料品等にも見られ、給食材料費も影響を受けているところです。本市では、令和3年4月に学校給食費を小学校・中学校とも従来から1食当たり30円引き上げていますが、令和3年度当初の物価から既に上昇が見られますので、その上昇分を補正するものです。

補正額の算出については、主食、牛乳、副食や調味料など年間契約を締結する食材費125品目について、令和3年度と令和4年度の価格の比較を行ったところ、2.5%上昇していることが分かりました。この2.5%を令和4年度の給食材料費に係る当初予算に乗じて得た1,300万円を計上するものになります。財源は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てる予定です。以上でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ございますでしょうか。
- **教育委員（丹羽千明君）** 特定財源として1,300万円ということなんですけれども、これは国がということですが、全国一律に交付されるというものなんですか。可児市が独自で申請したということでしょうか。
- **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 国の臨時交付金というものがございまして、各自治体が手を挙げてということになります。可児市は、この給食費に関しては1,300万円、手を挙げたということになります。ですので、一律1,300万円を全ての自治体に配られるわけじゃなくて、それぞれの自治体が、その自治体の状況に応じて計算しまして、それぞれ申請を出していく形になります。
- **教育委員（丹羽千明君）** では、この1年間ぐらいはもう大丈夫というようなことでしょうか。
- **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 可児市の場合は物価の上昇分を見ましたけど、それぞれの自治体で間に合わせていくようにして、例えば給食費が今回の物価上昇によって幾ら上がるかを計算して、その上昇分を申請する自治体も中にはあって、その辺はやっぱ自治体それぞれ知恵を絞ってやっていっていると聞いています。
- **教育委員（丹羽千明君）** 分かりました。
- **教育長（堀部好彦君）** ほか、よろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

特にないようですので、この件については原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

#### 各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** 各課所管事項に入ります。
- **事務局長（渡辺勝彦君）** それでは、私からは6月議会の結果について報告をいたします。

5月27日に本会議が開会いたしました。6月8日・9日に一般質問があり、教育委員

会所管に関しては、4人の議員の方から御質問がありました。

先ほど教育長も若干触れていただいておりますが、まず澤野議員から、本市の18歳成年改正民法への取組はということで、学習指導要領に基づく学校での実践として、中学3年生の社会科公民で成人年齢引下げを取り上げて主権者教育を実践していると。また、契約に関しても取り上げて、消費者教育を学校の授業の中で実践しているとお答えしております。また、選挙の意義と仕組みや政党の役割について学習して、模擬投票を実施したこともあるということでお答えしております。教育委員会の方針としましては、キャリア・パスポートを活用し、子供たち自身が「笑顔の“もと”」が身についたと言えるように育成しているということをお答えしました。

また、同じく澤野議員からヤングケアラーへの支援策について御質問がありまして、まず教育現場での対応としましては、現状、教育相談アンケートの定期的な実施とか、日常生活の様子の見守り、それから担任と児童・生徒の2者懇談など、ヤングケアラーに絞った形ではないですが、学校での子供たちの困り感についての相談体制はできていると答弁しました。

あと、子供たちにヤングケアラー支援の選択肢が分かるような体制はどうかという御質問の中では、教育相談アンケートの用紙の末尾等に相談先一覧を掲載するということが共有しております。また、子供がいつでも相談できる体制に関しましては、学校内では既に教育相談担当、それからスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との配置と連携ができています。そういった体制はできているんですけども、ヤングケアラーにつきましては、支援が必要であっても表面化しにくい構造となっていることが課題であると言われております。そこで、SOSの出し方に関する教育について全校で実施する予定であると答弁しました。

それから、富田議員からは、SDGs教育の内容はについて質問があり、SDGsに関しては、既に学習指導要領の中でも明記がされています。子供たちがSDGsの担い手となることが既に期待されているところです。学校での実践としまして、環境フェスタでの、今渡南小学校での今南伝統ホテル飼育であるとか、東可児中学校での環境取組紹介のほか、旭小学校のPTAと連携した取組や、今渡北小学校でのSDGsを意識した調べ学習などについての具体例を紹介させていただいております。

それから、天羽議員からは、グラウンドの排水機能低下の改善策はということで質問いただきました。小・中学校のグラウンドの排水対策については、排水対策はオーバーレイ排水と暗渠排水がございますが、実際排水に支障がある場合は砂を入れて転圧をしていると。また、学校排水機能の差をどう把握しているかという点では、学校では毎月グラウンドや校舎の安全点検を実施して、問題があれば教育委員会に報告するという仕組みになっていますので、そういった形で連絡を受けていますと。過去3年間でグラウンドの排水に関して要望があったのは、令和2年度の旭小学校の1件、それから今年度も旭小学校で1件ございまして、対応中という回答をしております。学校間で差があることは把握しておりますが、その都度、適切に対処させていただいておりますので、学校運営に大きな影響があるというところまではないと答弁しました。

また、御質問の中で、暗渠排水の目詰まりについて、掘り返したりしないのかという話がありましたので、暗渠排水に関しましては、グラウンドの整備が古いものですから、

図面等がないということで、現時点で掘り返すことまでは考えていないというふうに答弁させていただいております。

それから、板津議員からは、地域クラブ活動による部活動改革の進捗はということと御質問をいただいて、教育委員会としては、中学校の部活動の現状について答弁させていただいております。あと、学校部活動の時間ということで、夏季の平日は約1時間、冬はほとんどゼロだと。休日は二、三時間という活動をしていると。指導体制につきましては、県の中学校部活動指針というものがあります。それを基本として中学校ごとに部活動規約を制定しているので、それに基づいて、その中で外部指導者の指導方針についても触れていると回答しております。

また、その部活動改革で、実際教師の負担削減がどの程度見込まれるかということでは、今、休日の教師の部活動は月平均約12時間の数字が出ていますので、その分が削減できるのではないかと。また、その削減分で教員の心身の回復であるとか、それに伴って、授業の質の向上を図ることができるというふうに答弁をさせていただいています。

一般質問は以上ですが、そのほかにも6月16日に開催された教育福祉委員会では、また各課長から御報告させていただいているところが、学校給食であるとか、制服の変更であるとか、先ほど冒頭で話があった教員のSNSを使った不適切行動について委員会質疑がありましたので、それについてお答えをさせていただいております。

それから、先ほど報告させていただいた補正予算につきましては、6月9日に追加上程をされましたので、6月23日の議会の最終日に採決される予定です。議会に関しては以上です。

それから、教育委員訪問につきましては、私も6月15日に参加させていただきました。帷子小学校と土田小学校と春里小学校に行かせていただきました。また、この後も該当のところに参加させていただく予定ですので、どうぞよろしく申し上げます。

私からは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** 私からは、広陵中学校でのセアカゴケグモの発見と、その後の対応などについて報告をさせていただきます。

6月2日にメールで第1報をお知らせしておりますが、6月1日に校舎の壁面でクモの成体と卵嚢が発見されて、それを駆除したこと。それから、同日6月1日から翌2日にかけて保護者及び生徒に注意喚起を行ったということと、6月2日に報道発表する予定であることまでお伝えしておるかと思えます。

その後の経過でございますが、6月2日に、報道発表と併せて市内小・中学校全校に注意喚起を行っております。その後、業者立会いの下での現地調査を経まして、先週ですけれども、6月17日に第1回の駆除を実施しております。場所は、駆除業者の調査により、クモが生息していると思われるU字溝の中などでございまして、その際、成体の雄1匹、卵嚢9個を確認し、駆除しております。

今後の対応ですけれども、先週、第1回をやりましたけれども、8月下旬に再度業者の立会いの下、状況を確認いたします。その際、まだ生息している可能性があるようであれば、2度目の駆除作業を実施するという予定であります。また、市内全校で朝の会とか帰りの会などで、プロジェクターなどを使って児童生徒に注意喚起してもらうよう、

学校に依頼する予定でございます。

この件につきましては、市の環境課が、セアカゴケグモってこういうものだよと、危ないからこういうふうにしてねと、低学年の子にも分かるような形でチラシをつくり、それを以前市内の児童・生徒に配っておりました。それもあってのことなのか、広陵中学校のクモを見た生徒が、有害なクモとの知識を持っていました。またそれを先生に知らせてくれたということで、生徒がよい対応をしてくれる素地が根づいているといえますか、そういったいい事例であったのではないかなと感じております。

セアカゴケグモについては以上でございます。

それから、教育委員さんの学校訪問ということで、先ほど来お話がございしますが、6月13日の東明小学校、東可児中学校から開始しまして、6月15日に帷子小学校、土田小学校、春里小学校の3校、計5校を訪問いただいております。学校ごとの違い、校長の色が出ている部分もあるかと思えますけれども、地域性も影響しているのかなあとということを感じております。今週訪問はございませんが、また来週から再度始まりますので、よろしく願いいたします。

私からは以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校教育課長（佐野政紀君）** 前回、5月23日以降の学校に関わる動きをお伝えします。

おとといですけれども、6月18日土曜日に、a 1 aにて少年の主張可児市大会「わたしの主張2022」、伊藤委員さんと御一緒させていただきましたが、審査員として参加させていただきました。市内中学生12名の主張でした。どの生徒も今日的な課題を捉え、他との関わりの中で自分の考えをしっかりと持った力強い主張でした。私自身も、ウクライナ、フードロス、ジェンダーレス、多文化共生等々の力強い主張を聞きましたが、私の斜め後ろで座ってみえた校長先生が、涙を流しながら自校の生徒の主張に聞き入っていた姿は大変印象的でした。

先ほど堀部教育長の話にもありましたが、大きな事案が2つございました。大変御心配をおかけしたところです。

蘇南中学校生徒に関わる火災事案、今渡北小学校の教諭の逮捕事案ということで、当該校やマスコミなどの対応等、事務局の職員の動きはもちろんですし、この市役所内の各課とも連携を密にして進めました。危機管理につきましては、学校長のリーダーシップの下に緊急時における対応をしました。ふだんから様々な場で職員が組織で動く、チームで対応することとしています。こういう積み重ねの対応が、今回もできたのではないかと感じております。

再発防止につきましては、校長会、教頭会の中で指導を重ねているところです。あわせて、可茂教育事務所の支えが非常に手厚く、スクールカウンセラー等の人的な配置を含め、様々な面で支えをいただきました。

4月より、新型コロナウイルス感染症に関わる動きです。陽性判明した学校は16校です。全ての学校で陽性判明者が出ているということになります。しかし、学級閉鎖の対応はございません。先週末、6月17日までに380件のコロナに関わる陽性判明の情報を受け、おのおのの学校で対応をし続けているところです。

5月23日以降、集団検査を受検した学校は、桜ヶ丘小学校、中部中学校の2校です。

6月は中学校体育連盟（中体連）の大会が行われますので、大会に向けた取組も感染症対策を取った上で進めてまいります。

委員さんから、マスクについての御意見もいただきました。6月17日のすぐメールにて、夏季における児童・生徒のマスク着用について、案内を一斉に配信したところです。特に熱中症対策として、体育の授業、運動部活動の活動中、登下校は熱中症のリスクが高いことが想定されるため、熱中症対策を優先し、児童・生徒はマスクを外して活動しますという内容でした。学校は、繰り返し熱中症対策、感染症対策の両方を取るために、マスクを外す、マスクを着用することをしっかり判断できるように指導し続けているところです。

最後です。現在、市役所正面入り口に制服の展示がされています。令和5年度に向けて、可児市内中学生の制服の採用に向けた取組が進められています。6月26日までがウェブ投票期間です。可児市立中学校制服選定委員会が作成したチラシを再度机上に配付させていただきました。

私からは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。
- **教育研究所主任指導主事（三宅愛彦君）** お願いします。

それでは、別冊の資料の教育研究所よりを御覧ください。

1枚はねていただいて、3ページから御覧ください。

2番、研究・研修について、下段の表ですが、この夏に研究所が行う研修会となっております。今年度、特に学校にお勧めしているのは、⑤の太ゴシックで書きました研修です。これは、その上の④の研修と同様に、平田オリザ先生を講師に迎えて行うものです。オリザ先生には、可児市に何度も足を運んでいただいて、それぞれの研修や教育講演会でお世話になっておりますが、今年度は④のコミュニケーション力育成講座に加えまして、平田オリザ先生の教育観に触れて、また自分の教育観に磨きをかけるべく新しい講座を持ちました。詳細は、裏面4ページを御覧いただければと思います。もし、御都合が合えば、ぜひ参加していただければなあということで紹介させていただきました。

では、5ページです。

印刷が少しずれて重なっておりますして申し訳ございません。

真ん中辺り、3番です。今年度の教科書展示についてですが、ちょうど今研究所で行っております。毎年行うものですが、こちらもお時間が許す方は、ぜひ研究所にお立ち寄りいただければなあと思いますので、お願いいたします。

最後です。4番、笑顔のもと重点事業とその進捗状況について御報告します。

6ページを御覧ください。

不登校対策については、来週ですが、スマイリングルーム運営委員会を実施して、不登校対策における未然防止及び初期対応について、可児市としての方向性を出して、学校に御協力いただくような動きをつくっていきたくと考えております。

次、真ん中の表です。これも不登校対策の一環ですが、よりよい認知を育む心理教育プログラムを現在この表を基にしながらつくっております。表を見ていただくと分かるように、小学校低学年・中学年・高学年、そして中学生の1・2・3年生という発達段

階に分けまして、各分野、生活習慣スキルであるとか、自分を知る自己理解であるとか、それぞれの分野のエクササイズを満遍なく各学校で行えるように今計画をつくっておるところでございます。

次、(2)特別支援教育についてですが、新たな担い手を育てるということが一つ可児市として重点を置いてやっておるんですが、7月下旬に行われる判定部会があります。そこに先生方のお名前がある表がありますが、太線で囲んだ先生については、今後中堅教諭で可児市の中心を担っていただく先生方です。これらの先生に今年度も入っていただきながら、OJTで中堅を育てていくという動きをつくっております。

次、(3)外国籍児童・生徒教育についてです。県のキャリア支援事業を核にしながら、外国籍児童・生徒のアイデンティティー確立のために動いておりますが、その一つとして、8月25日に文部科学省からアドバイザーを派遣していただいて、集住地域だけでなく、散在地域での受入れ、今後増えてくるであろう受入れについてアドバイスをいただくという会を持ちます。この8月25日の後は、それを含めながら各学校に発信していきたいなあと考えております。

最後、(4)幼保小連携についてですが、現在、各小学校の希望に応じて、幼保小連携協議会を実施しているところでございます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 私からは2つございます。

まず、事務局長から少しお話があった議会の関係なんですけれども、6月16日に教育福祉委員会がありまして、この中で学校給食費について伊藤議員から質問がありました。可児市は値上げの計画はありませんかとか、学校給食事業の継続は大丈夫ですという質問でございますが、こちらにつきましては、先ほど御報告させていただいた補正予算によって値上げをしなくても済む考えですということと、給食事業の継続についても問題ないと考えていますということをお返答しております。

あと2つ目になります。給食センターの栄養教諭が食育の資料として、動画をつくりました。今、新型コロナ対応ということで黙食が求められているんですけど、給食の時間の中で、動画を通じて食についての興味・関心や知識を増やすことで楽しい給食の時間を過ごしてもらいたいという目的でつくっております。動画は3分ぐらいで、全ての学校で動画を流したいのですが、給食の時間というのが、先生方も配膳して、食べてもらって、片づけしてということで、40分とか、それぐらいの中でさらに動画を流す準備をとるのが大変であるという声もいただいています。まずは中部中学校と南帷子小学校の2校でやってみて、その後、ほかの学校にもその経験を広げていきたいと考えています。給食の時間が難しい場合は、給食時間以外でも動画を流していただくことを考えております。

〔動画視聴〕

ということで、みなさんに協力をいただき、手作りで動画をつくりました。先ほど申し上げたとおり、学校で使ってもらえたらなと思っております。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

私たちも、給食センターに直接出向いて様子を見せていただいて、給食を頂くような時間もあっていいかなあなんていうことは個人的に思っておりますけれど、機会があ

りましたらお誘いをしたいと思います。

それでは、今各課から報告等ございましたが、御質問、御意見ありますでしょうか。

○ **教育委員（長井知子君）** 動画ありがとうございました。

私もPTAか何かのときに給食センターを見せていただいて、センターの方々が異物混入に気をつけて、大きな釜で熱いだろうところで調理しているところを見たときに、もう絶対給食残せないとか、ありがたく食べなきゃばちが当たるなど大人ながらに思いました。動画を見ることで、子供たちがありがたく食べなきゃ、残せないなあと感じてくれると思うので、今回こういう動画ができてすごくうれしく思っています。ありがとうございました。

○ **教育長（堀部好彦君）** 本当に毎日9,000食ですからね。それを食の安心・安全を担保しながら、食育も積極的にいながらでやってくださっているのは、本当に感謝だなあと思いますね。

ほか、よろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

ありがとうございました。

#### 委員からの提案協議事項

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題といたします。

何かございますでしょうか。

○ **教育委員（長井知子君）** 学校訪問をして思ったことなんですけど、提案とかそういうのではなくて、土田小学校に行ったときに、校長先生が、外国籍の子が多いから、これは土田小学校を勤務した先生や外国籍の子を抱える、例えば今渡北小学校とか、今渡南小学校とか、春里小学校とか、そういうところに勤務した人しか、どんなに伝えても分かってもらえないと言って、これに限らず、どんなことでもそうだと思うんですけども、そんな中で、土田小学校の校長先生がすごく心を持って子供たちを育てていらっしゃることに心を打たれました。先ほども申し上げたように、専任で外国籍の子供たちを教えている先生がすごく熱く語られて、国籍関係なく外国籍の子に一生懸命に教えている姿で、何が問題なのか、何が起きているのかを伝えてくださったときに、教育委員会としてきちんと対応していると思うんですけども、そうやってこの世界だけじゃなくて、何でも心のある人が一生懸命やっている。だけれども、例えばそれが組織レベルだとか、頑張りが認められない、分かってもらえないとなったときに、人って、いつか諦めというか、どうせやっても無駄だしみたいな、何かそんなふうになっちゃうんじゃないかなあとすごく思ったので、やっぱりそういう目に見えないところ、先生方の御苦勞は、例えば教員不足だとかの面は正直県レベルなので、どうしようもないことかもしれないですけども、そういったところに目を向けてあげることで、先生方の教育心というか、意欲が保たれたり、増していくんじゃないかなあと思いました。

あと、私情を持ち込むつもりはないんですけども、友人が土田小学校で教師をしていて、そこで聞いたのは、支援学級が8人、9人いるけれども、半分が外国籍の子だと。



その子供たちは日本語が分からない。そういった中で教えていらっしゃる先生方の御苦労、先生方は子供が好きで、教えることが好きで教師になったので、国籍関係なく平等に教えていらっしゃるんですけれども、そういったところも何らかの支援なり、手を差し伸べるとかすることで、先生方が救われることもたくさんあるんじゃないかなあと思いました。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。大変貴重な御指摘で胸に刺さります。

今御指摘の外国籍の児童・生徒への支援について、やはり今おっしゃるような課題も私どもも感じておりまして、例えばこれまで集中していた外国人児童・生徒が散在してきた。これまであまりそういったノウハウのない学校にも子供たちが通うようになってきていると。それは一つの課題だなあとということで、市として取組をとすることは考えております。

この点について、三宅主任さん、ちょっと報告すべきことがあれば。

- **教育研究所主任指導主事（三宅愛彦君）** ありがとうございます。

今、長井委員さんがおっしゃっていただいたように、非常に取り組まなければいけない喫緊の課題ではあります。

研究所として、今2つ大きく考えております。1つは、例えばばら教室であったり、集住地域の学校であったり、そういう学校で頑張っている先生方の直接の思いを、いろんな研修の場を通して散在地域の学校の先生にも伝えていきたいなあと考えております。例えば4月に行いました初任者研修では、前にも御報告させていただいたように、初任者の先生方に実際に授業を見ていただいて、先生方の指導を見ていただいて、一人一人に丁寧に説明をやっていくことを学んでいただきました。

また、初任者だけじゃなくて、各学校の外国籍教育の担当者の会議が年に数回ありますが、そのときには、ばら教室の室長である若原先生のお話を直接聞いていただいたりして、少しでも学校の先生の頑張り、努力を伝えていくことで、今後もそのような動きをしていきたいなあと考えております。これが1点目です。

2点目は、先ほども申しましたが、県の指定事業にありますキャリア支援事業を今可見市はやっております。その中の一つに、日本語指導に活用できるデジタル教材の活用という柱がございます。これにつきましては、具体的な動きとしては、昨年度GIGAスクール元年ということで、各小・中学校にGIGAタブレットを配付しましたが、ばら教室等でも使えるようにということで、タブレット、そしてWi-Fi環境を整備しました。それを行うことで、例えばデジタル教科書の読み上げ機能を使って、今先生が読んでいるところはここだよということが色でだーっと出てくるようなこともできます。

さらに言えば、僕も参加したことがあるんですが、ばら教室の修了式ですね。とっても感動する、子供たちが一生懸命語る、あれをオンラインで流すことで、今まで全員の先生がそれを見ることができなかったんですよね。それを少しでも多くの先生にオンライン配信すれば見ていただけるということもあります。なので、そのような動きを今しているということを御承知おきください。以上2点です。

- **教育長（堀部好彦君）** 以上、外国籍児童・生徒への支援ということで、このような動きがあるということ、それからそういった支援に限らず、本当に志を持って努力

しておられる先生方がモチベーション下がらないようにということは本当に考えていなくちゃいけない。その最善策は、やはりまずは各校の管理職、校長、教頭だろうなあとということを思っています。

本当に御指摘ありがとうございました。

- **学校教育課長（佐野政紀君）** ありがとうございます。私も1つ大変うれしいことがありましたので、紹介をさせていただきます。

実は、ばら教室の市費の先生のことなんですけれども、ばら教室を卒業して蘇南中学校で学ばれて、東濃高校へ進学されて、そして就職を考えたときに、ばら教室に勤めたいとエントリーしてくれた方が見えます。今、その方がばら教室で先生としてのスタートをしました。キャリア・パスポートという言葉が先ほど出てきたんですけれども、子供たちにとっても、その先生は将来の自分であるということにもなりますし、その先生からすると、ばら教室や蘇南中学校や可児市で学んだことの還元を仕事としてスタートするというので、大変いい動きが一つ今年度スタートしました。これは県内広く多文化共生に努めている先生方お見えだと思うんですけれども、勇気をいただいたといいですか、力をいただいた事案の一つとして喜ばしい出来事ですので、ちょっと補足をさせていただきます。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

本当に可児市教育の大きな成果と言えるんじゃないかなと思いますよね。私もその話を聞いてとてもうれしかったものですから、ちょうど今週水曜日に、夕方、その方とちょっと二、三十分、話しさせてと室長さんをお願いをして、これまでの学生生活で培ってきたいろんな思いがあるだろうと思う。それが、イコール「笑顔の“もと”」だと思えるんですよ。彼女は、どんな笑顔のものを培って育ててきたのかということを知りたいなあとと思って、お邪魔する約束を取り付けさせていただきました。また後日、報告をさせていただきたいと思います。

ほかはよろしかったですか。

- **教育委員（丹羽千明君）** 提案じゃなくて、できたらのお願いなんですけど、今、前々回の会議録という形でいただいておりますけど、できましたら、間に合えば、前回のというのがあれば、もっと次の会議により役立つと思うんですけれど。
- **教育総務課総務係（小池拓哉君）** 頑張ります。次は、前々回と前回出させていただきますので、よろしくお祈いします。

- **教育委員（丹羽千明君）** よろしくお祈いします。

- **教育長（堀部好彦君）** 教育長がしゃべり過ぎているものですから、大変だと思うんですよ、本当に。努力はすると思います。よろしくお祈いします。

ほか、よろしいですか。

[挙手する者なし]

## その他

- **教育長（堀部好彦君）** では、次にその他の次回の日程等について。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** 先月決めていただきました7月25日月曜日午前9時からお願いいたします。場所はいつもの4階第3会議室でございます。終了後に、午

後からを予定していますけれども、点検評価について教育政策会議を開催いたしますので、この日、午前・午後にわたってになりますけれども、御予定のほう、よろしくお願いたします。

また、8月の日程ですが、8月15日月曜日はいかがでしょうか。  
よろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

では、よろしくお願いたします。

- 教育長（堀部好彦君） それでは、7月25日は終日ということですね。
- 教育総務課長（飯田晋司君） そうですね、午後にかけてです。
- 教育長（堀部好彦君） これは昨年度と同じでしたね。
- 教育総務課長（飯田晋司君） はい。
- 教育長（堀部好彦君） じゃあ、午後から教育政策会議も入るということでお願いをします。あと、8月15日9時からということでもよろしくお願いをします。

（以下非公開）

（以上非公開）

#### 閉会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） 以上で全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。お疲れさまでした。

閉会 午前10時37分